

[第 20 回広陵町ごみ処理町民会議 議事概要]

日時 : 平成 30 年 10 月 30 日 (火) 14:00 ~ 15:15			
場 所		クリーンセンター広陵 3階 研修室 (大)	
議事内容		(1) 第 19 回の議事概要について (2) 山辺・県北西部広域環境衛生組合進捗状況について (3) 前回の意見書結果における方針 (案) について (4) 安堵町での 3 町による広域化について	
- 開会 -			
事務局からの説明事項 ・町民会議の傍聴に関する取扱要領 による 4 名の傍聴者報告			
鍵谷会長あいさつ		・ 5 月に第 19 回を開催し、その中の色々な議論で、中継施設の広域化の話も出ている。どのような形で現施設を利用できるかを今回で検討するということであったが、具体的に色々と報告できる内容となってきた。	
事務局による資料確認			
<b>【議事概要】</b>			
(1) 第 19 回の議事概要について			
発言者		回答者	
会長	・事務局から議事 (1) の説明をお願いしたい。	事務局	・第 19 回の議事概要については、特に意見もなかったもので、8 月 2 日にホームページに掲載している。
(2) 山辺・県北西部広域環境衛生組合進捗状況について			
発言者		回答者	
会長	・事務局から議事 (2) の説明をお願いしたい。	事務局	○平成 30 年 5 月 1 日開催の第 8 回山辺・県北西部広域環境衛生組合運営協議会報告

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設の建設費</li> <li>・今後の工程</li> </ul> <p>○平成30年5月15日開催の第16回ごみ処理広域化担当者会議報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設の建設費</li> <li>・今後の工程</li> <li>・民間活力導入可能性調査結果</li> <li>・災害廃棄物処理計画</li> <li>・平成30年度廃棄物実態調査に係る事前協議</li> </ul> <p>※当初、平成28年度の組合発足時に試算された建設費1トンあたりの建設単価は5,300万円であったが、平成28年から平成29年を同等に試算すると1トンあたりの建設単価は8,500万円と高騰している状況である。高騰については東京オリンピック等の要因が考えられるが、今後の動向に注視する必要がある。参加10市町村議会に報告してほしいとの説明である。</p> <p>○平成30年7月30日開催の第17回ごみ処理広域化担当者会議報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年第2回組合議会定例会の議案</li> <li>・平成29年度決算</li> <li>・平成30年度一般会計補正予算</li> </ul> <p>○平成30年8月21日開催の平成30年山辺・県北西部広域環</p>
--	--	--

[第 20 回広陵町ごみ処理町民会議 議事概要]

			<p>境衛生組合議会第 2 回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度決算及び平成 30 年度一般会計補正予算の可決</li> </ul> <p>○平成 30 年 10 月 17 日開催の第 9 回山辺・県北西部広域環境衛生組合運営協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度予算</li> <li>・組合規約の変更</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域組合の協議事項はホームページに掲載されているのか。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域組合議会は掲載されているが、運営協議会等はされていない。確認したい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設費が高騰して 1.6 倍になるが、トンあたり 5,300 万円が 1.6 倍となると、建設費の総額はいくらになるか。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は 180 億円であったが、処理量 340 トンの 1.6 倍なので約 280 億円になる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独でやっても同じように上がるので、あまり議論の余地はない。DBO 方式（公設民営方式）について、分からない方が多い。補助金対象となるのかの確認は必要である。</li> </ul> <p>※DBO(Design Build Operate)とは、公設民営と訳されており、公共が資金調達を負担し、施設の設計・建設・運営を民間に委託する方式のこと。</p>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DBO方式というのは、施設の設計、工事、運営管理まで民間に委託する方式である。補助金の対象範囲は分からない。</li> </ul>
(3) 前回の意見書結果における方針（案）について			
発言者		回答者	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から議事（3）の説明をお願いしたい。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の議事であったごみ中継施設整備手法別対比表に対する意見書において好ましい配置検討項目としては、何らかの形で現施設を利</li> </ul>

		<p>用という意見が全体の 75% (20 名中 15 名) であった。この結果を踏まえ、本会議では現施設の利用を重点に進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現クリーンセンター炭化炉棟の高い部分を低くした外観のイメージはどうかとの意見に対しては、写真を加工し、炭化炉棟を約 20 m から 10 m にした外観を提示している。古寺、中、広瀬、百済の周辺 4 箇大字から眺めた写真で現状と対比させている。</li> <li>・当初、広陵町のごみ量における処理方式の設備費の積算は、コンテナ車両の車種により、広域組合や地元協議の中では認められていなかった段差落とし込み方式（上牧町方式）ではなく、ダストドラム方式（田原本町方式）で概算を積算していたが、広域組合との協議や地元の理解によって大型運搬車アームロール式・鉄蓋密封式コンテナの車種が認められたので、段差落とし込み方式が採用できることになった。機械設備のメンテナンスの必要がなくなり、建設費・維持管理費が大幅に削減されるので、中継施設の処理方式の 1 つとして採用したい。</li> <li>・参考までに、岐阜羽島のごみ中継施設の段差落とし込み方式では、収集車が 2 階に上がり、1 階で待機するコンテナに直接ごみを投入する。写真は中継施設の建物の外観である。黄色のところはシャッターで、大型車が入り出す。見</li> </ul>
--	--	---

			<p>た目は倉庫の建物である。計量後、収集車がスロープで2階に上がったところで、高速シャッターが開き、ごみ投入口に収集車がバックでつけ、ごみを1階のコンテナに投入する。ごみは一定の場所にしか投入できないため、ユンボが補助している。1階部分にごみの受入コンテナを設置し、大型アームロール車でコンテナを積み込み、搬出する。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前はこの方式は認められていなかったが、今回検討に上がってきた。前はドラム方式で取り上げた。金額についてはもう少し前に進めば検討する。この岐阜羽島の施設レイアウトや配置図、平面図はないのか。写真だけではなかなかイメージが分かりづらい。</li> <li>・できれば高さが分かるような立面図があればよいが。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、段差落とし込み方式というのはどのような形なのかを提示した。次回に図面を提示したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示写真は同じ建物か。写真はだいぶ横に伸びているが。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真は同じ場所の写真、パノラマ的になっているが、同じサイズに合わせた関係でそうになっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集計は、可燃ごみと不燃ごみやリサイクル、粗大ごみ、それも一緒に考えて集計されているのか。集計として可燃ごみは安堵町ということをお願いしている。それは載せていないのか。11月の広報（議会だより）でも町長が回答されている。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集計としては、可燃ごみ、粗大ごみ、リサイクルを区別せずに中継施設として広陵町でする場合の4案を提示した。その時には、安堵町との広域化の話はない前提の中で、委員にアンケートを取った。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真としては、羽島市の中継基地の平面図と中継基地の周辺の位置図が欲しい。写真で周りの環境がどのようなところなのかを確認したい。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽島市の施設状況を説明すると、羽島市・笠松町・岐南町・岐阜市の組合ごみ処理施設が稼働停止となっている。平成40年度の新ごみ処理施設稼働まで各市町でごみ処理をするところから、羽島市は中継施設を民間衛生会社に処理を委託している。この地域は準工業地域で、横に名神高速道路、約200mのところには住宅もある。最終処理責任は羽島市にあり、ごみの処理先である三重県伊賀市の三重中央開発までごみを運搬している。もう1箇所は岐南町・笠松町共同で、可燃ごみは岐南町、保管施設は笠松町の両町で行っている。同じく民間へ設計、建設工事から運営まで民間に委託している。次回に航空写真を提示する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この羽島市の建物の高さや大きさはどのくらいか。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地は5,000㎡ほどで、可燃ごみの隣にはリサイクル施設もある。この中継施設の大きさは約1,200㎡、概算の工事費は約3億5,000万円である。高さは約10mから11m、コンテナの高さは約3mと余裕高で、2階部分のプラットフォームから天井まで約5m強となっている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>現施設の大きさと高さはどのくらいか。</li> <li>羽島市の総処理量はいくらか。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>このクリーンセンターのリサイクル施設は約2,000㎡強、高さはプラットフォームの高いところで約10mである。</li> <li>羽島市の人口は6万人ほどで、処理量は日量約60tである。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>量が少ないとしても、車の動線があるので、小さくはでき</li> </ul>		

	ない。5,000 m <sup>3</sup> ほどは必要かと思う。		
(4) 安堵町での3町による広域化について			
発言者		回答者	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から議事(4)の説明をお願いしたい。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月からの進捗としては、7月に安堵町長選挙があり、無投票で西本町長が再選された。9月の定例議会で、議員全員に「ごみ処理広域化に伴うごみ中継施設の広域化(安堵町・河合町・広陵町)」について、広域化による建設費・維持管理費のスケールメリットや単独建設費との比較等を説明されている。議員からは、住民の生活道路に対する影響の質問が出たが、近隣住民の生活道路に影響はないと回答し、議員全員の理解を得られたとの説明を受けている。</li> <li>議会終了後の9月20日に上牧町のごみ中継施設を町長と全議員で視察されている。また、現清掃施設の地元笠目地区、窪田地区の役員や区長会でも説明されており、広域化に向けての理解は得られ、障壁はないとのことから、今後のスケジュールについては年度内には広域中継施設建設への参加意志確認を行う旨の説明を受けている。まだ細かな部分の課題整理も残っているが、前回からはかなり状況が進展している。</li> <li>広陵町においても、先に提示した現施設を活用する案に安堵町との広域化に参加する案を加えて、町にとって何が最適なのかの議論を</li> </ul>

		<p>委員にお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 町の天理広域参加について、可燃ごみは 3 町参加、粗大・リサイクル等の参加は安堵町と広陵町の 2 町が参加となる。安堵町との広域に参加するとしても、可燃ごみは安堵町・河合町・広陵町の 3 町で、粗大・リサイクル・不燃ごみ等は安堵町・広陵町との 2 町で安堵町に持って行く方法と可燃ごみのみを安堵町へ持って行き、広陵町では資源ごみの紙・布類は自前での処理となっていることに加え、一般持込ごみの受け入れ施設を残すことの必要性から、建設費・維持管理経費の削減を考え、安堵町と共同で粗大・リサイクル・不燃ごみ等の受け入れについて広陵町の現施設を活用する方法もある。</li> <li>・ 次に、3 町の可燃ごみ量と 2 町の粗大・リサイクル等のごみ量を示す。3 町広域でごみ中継施設を計画した場合の人口と可燃ごみ量で、天理市の広域組合施設稼働後の平成 36 年度の推計値となっている。今後、広域中継施設を検討する際の参考にしてもらいたい。</li> </ul> <p>3 町の人口と可燃ごみ量で、平成 36 年度の推計では広陵町 35, 278 人で年間可燃ごみ量 6, 349 t、安堵町 7, 464 人で年間可燃ごみ量 1, 985 t、河合町 17, 988 人で年間可燃ごみ量 4, 956 t であり、合計人口が 60, 730 人で年間可燃ごみ</p>
--	--	--

		<p>量 13,290 t となっている。</p> <p>1 日の積み替え処理量は約 60 t から 70 t となる。各町のごみ量割合は広陵町が 48.8%、安堵町が 14.9%、河合町が 37.3% で、広陵町のごみ量が約半分を占めることになる。次に、広陵町の施設を活用して安堵町の粗大・リサイクル等のごみを受け入れた場合の平成 36 年度の推計としては、広陵町と安堵町の粗大・リサイクル・不燃ごみ等の各種ごみ量と天理広域リサイクル施設までの大型車 1 か月あたりの運搬回数で 2 町の合計を記入している。広陵町は資源である紙・布類は、天理広域施設への参加は任意となっていることから、町で売却する予定である。それ以外の粗大からペットボトルまでのごみを大型車で天理市まで運搬する。運搬車種は、粗大からリサイクルの缶、ビンまでは大型コンテナ車での運搬となり、容器包装プラとペットボトルについては、大型パッカー車で圧縮して運ぶ方法もしくは大型コンテナ車で運ぶ方法のどちらが有利か検討したい。収集品目欄の粗大は、大型車平均 7 t から 7.5 t 積みすると、広陵町は年間 541 t で月 6 回、安堵町は年間 115 t で月 1.3 回、2 町合計で月 7.3 回となる。大型パッカー車または大型コンテナ車で運搬するペットボトルは、広陵町は年間 41 t で月 0.5 回、安堵町は年</p>
--	--	--

		<p>間 31 t で月 0.3 回、2 町合計で月 0.8 回となり非常に少ない。運搬回数の合計は、広陵町で月 12.7 回、安堵町で月 3.3 回、2 町合計で月約 21 回の運搬となる。安堵町のごみ量は広陵町の約 20% で少ない。天理市までの大型車の運搬維持管理費を長期的に最小限にする必要がある。今後、比較検討と広陵町の課題を整理しながら委員に提示していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>・通常ごみ量は人口に比例するが、広陵町の人口 35,278 人で可燃ごみ量 6,349 t に対し、安堵町の人口は約 5 分の 1 であり、本来は 1,200 t から 1,300 t だが、1,985 t となっている。まだまだ減量化が進んでいない。また、河合町でも広陵町の人口の約半分なので、3,000 t 少しの量となるが、5,000 t 近く出ているので、まだ減量の余地がある。広陵町の減量化が進んでいるという意味合いでもある。基本的小ごみ施設の建設費はごみ量割案分となるので、建設費等は広陵町として有利である。減量化が遅れると負担割合が大きくなる。次に、広陵町と安堵町の粗大・リサイクル等のごみ量で 2 町のは広陵町で受け持とうかという話であったが、粗大・不燃・リサイクル・容器包装</p>	

	<p>プラ・ペットボトルのごみ量については安堵町の場合、人口割合にするとばらつくが、可燃は広陵町に比べると5分の1となっているが、各ごみ組成では各品別目でもない。資源ごみ・不燃ごみ量は安堵町では年間約300tで、広陵町の1,566tの約5分の1になってる。可燃ごみに比べると、人口割合と同じぐらいになっている。ごみ組成は生活の仕方や廃棄の仕方で異なる。また、各町の収集基準があるので色々と変わるが、全体的には不燃・リサイクル関係は人口割合の基準になるが、可燃ごみは人口割合に比べると他町は多い。</p>		
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは平成36年度の推計か。3町の人口は今より減るのか。</li> </ul>	<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この資料は、平成28年度に山辺・県北西部広域環境衛生組合一般廃棄物処理基本計画に基づいて作成している。計画は、平成43年度までの人口とごみ量について、参加市町村の清掃施設のごみ組成調査を行い、ごみを分別推計している。広陵町の人口は現在35,012人で、今より若干増えているが、安堵町や河合町は若干減っている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広陵町全体で住宅地が増えているが、安堵町と河合町の人口が減ると、総量として可燃ごみは減ってくると解釈していいのか。広陵町と安堵町の収集品目を見ていたら、容器</li> </ul>	<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この数値は、広域組合の一般廃棄物処理基本計画の資料に基づいて作成している。品目ごとに数値をチェックして記入しているので、数値の回答はこのとおりである。</li> </ul>

	<p>包装プラは広陵町で 4 5 9 t、安堵町で 5 t であり、倍率が違う。ペットボトルについては 4 1 t と 3 1 t で僅差となっている。集計に差がついているので不自然に思う。</p>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の粗大や不燃についてはだいたい合っているが、4 5 9 t と 5 t はおかしい。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ組成調査から出した数値なので、こちらで変えることはできない。これは組合参加 1 0 市町村の清掃センターにごみ組成調査をした結果で、分別できていない可能性がある。数値的にはこの結果になっている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ組成も 1 回か 2 回ではなかなか難しい。通常、可燃ごみは年 4 回行い、その平均で発熱量等を決める。1 回では難しい。注意しておく項目となる。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 町の可燃ごみの年間量については、私も人口とごみ量のバランスが悪いと思った。先ほど、広陵町は減量化が進んでいると説明があったが、安堵町と河合町のごみと広陵町のごみとでは何が勝っているのか。広陵町と安堵町の月の回数は合っているが、1 0 2 回となっている。8 7 回の間違いではないか。合計 1 か月の回数は合っているが、年の回数が違っている。こういう表を作成する場合、1 箇所が間違っていれば、他にも間違っていると思いがちになる。数字を表すときには細心の注意</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 7 回の間違いである。申し訳ない。他の数値も確認する。</li> </ul>

	が必要である。		
会長	・ 数値は諸費用に関わってくるので、確認が必要である。		
委員	・ 今の説明で、上の表は広陵町、安堵町、河合町の合計ごみ量となっているが、次は広陵町と安堵町だが、何か意味があるのか。	事務局	・ 可燃ごみについては広陵町、安堵町、河合町の 3 町で天理市の広域組合に持って行く。粗大・リサイクル等については河合町だけが単独で処理する。広陵町と安堵町が天理市の広域組合に参加するという事で分けている。可燃ごみは 10 市町村が参加するが、粗大・リサイクル等は大和高田市・三郷町・河合町が参加しない。
会長	・ 二つの案があるので、組合の方の参加市町村種別表があれば整理しやすい。全体が見えるような形で説明してもらえればよい。		
委員	・ 直接関係あるか分からないが、ごみの搬入量に応じて各町の負担金が変わる。広陵町の中で一般家庭の収集と事業系の収集業者と分けて受け入れしているが、事業系一般廃棄物について、広陵町以外のごみも入っていないかの普段からの確認体制を聞きたい。	事務局	・ 現在、展開検査をやっている。こちらに持ち込めない物は持ち帰ってもらっている。他市町村のごみが入ってはいけないので必ず検査をしている。
委員	・ ごみ質も大事だが、他市町村のごみが入っていれば余計な支出につながる。組成分析ではなく検査をやっているのか聞きたい。	事務局	・ 許可業者搬入時に、必ずダンピングのところに開けて、係員が確認している。毎朝 11 時までに業者が搬入するので、確認後にピットに入れている。

会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体のごみ量の事業系一般廃棄物の割合はどのくらいか。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成29年度で2,530tほどが許可業者の量で、全体の量は約6,300tである。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業系ごみを持ってきたら展開検査を行う。量は確認しているので問題ない。</li> <li>• 前回の会議から安堵町での広域化についての体制が進んできた。広陵町も議会へ説明をしたようなので、この2方式、広陵町で作った場合と安堵町で広域化した場合の建設費や維持管理費を次回に検討したい。まだ写真を見てもすぐには分かりかねるので、色々と資料を出しながら、できるだけ委員が理解できるように説明して、色々な意見をもらいながら進めていきたい。まだ決定はしてないが、選択肢として2つが出てきた。具体的な金額等を出して検討していくということでしょうか。（了承の声があり）次回、そういう形で進めていきたい。</li> </ul>		
(5) その他			
発言者		回答者	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最後にその他をお願いしたい。</li> </ul>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次回の町民会議は、先ほど説明したように、現施設で段差落とし込み方式での積算と、安堵町で広域化した場合の全部を安堵町と、可燃ごみを安堵町で粗大・不燃ごみを広陵町とした方式の積算を行い、それぞれ比較したものを提示したい。開催時期は1月下旬を考</li> </ul>

[第 20 回広陵町ごみ処理町民会議 議事概要]

			<p>えており、その時には委員全員にアンケートを実施し、意見をお願いしたい。その意見を集約した結果を踏まえ、町民会議としての一定の方向性を絞り込み、提言書を作成していきたい。</p> <p>・その後、3月末予定で再度町民会議を開催し、提言書について委員の意見を確認し、臨時幹事会で決定のうえ、今年度末には町長に対して提言書を会長から提出してもらいたい。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの宿題があるが、数値はチェックするので提出してほしい。</li> <li>・副会長のあいさつをお願いしたい。</li> </ul>		
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安堵町との広域化が具体的な流れの中で出てきた。安堵町、河合町と3町の事務方でしっかり把握して、どれくらいの負担が出てくるのかを十分に精査してほしい。そこを十分に認識して取り扱ってもらいたい。</li> </ul>		
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に町からお願いしたい。</li> </ul>		
副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の町民会議の中で資料を提出し、説明しながら進めていきたい。町の重要な課題として町民会議の中で議論し、今年度末に提言書を町に提出してもらいたい。</li> </ul>		
<p>— 閉会 —</p>			